

『神奈川大学言語研究』投稿規定

神奈川大学言語研究センター

1. 投稿は原則として、所員に限る。
2. 投稿者は原稿を言語研究センターに期限までに提出する。
3. 原稿の採否はレフェリーによる査読の上、編集委員会が決定する。
4. 所員以外からの投稿については、編集委員会で適合原稿を選び、編集委員会原案として運営委員会に提出し、運営委員会の議を経て、その掲載如何を決定する。
5. 投稿原稿の条件
 - ① 投稿論文は未発表のものであること。ただし、すでに口頭で発表し、その旨明記してある場合は対象となる。
 - ② 日本語、中国語の場合は横書き A4 判、20,000 字以内。その他の言語の場合はダブルスペース 30 枚前後（65 ストローク 25 行）。注と参考文献を含む。
 - ③ 採用の場合に最終原稿のハードコピーとともに、名前、タイトル、電子ファイルを提出する。
 - ④ 書式の細部については、*Publication Manual of the American Psychological Association* (APA) (6th edition)、または *MLA Handbook for Writers of Research Papers* (6th edition)『MLA 英語論文の手引』（第 6 版）に従う。
 - a. 注は、注または Notes として原稿の末尾にまとめる。
 - b. Acknowledgement があるときは、タイトルページでなく、本文の終わり、注の前に置く。
 - c. 名前は、別紙を作らずタイトルページに載せる。タイトルから 2 行空けて右端に収める。タイトルが 2 行以上になるときはできる限り逆三角形の形をとるよう工夫する。
 - ⑤ 校正は初校と二校を執筆者が行う。植字上の誤りに関するもののみとし、内容に関する訂正加筆は避ける。
 - ⑥ 本文前に 200 ワード程度の英語のアブストラクト及び 5 つのキーワード（本文と同じ言語を使用）を入れる。また、別紙に英文タイトルを表示する。
 - ⑦ 母国語以外の言語で書いた原稿はネイティブチェックを受けること。
6. 掲載原稿については、著作権（複製権、公衆送信権を含む）を当センターに一括譲渡することに同意しているものとみなす。また本誌は神奈川大学学術機関リポジトリに登録する。